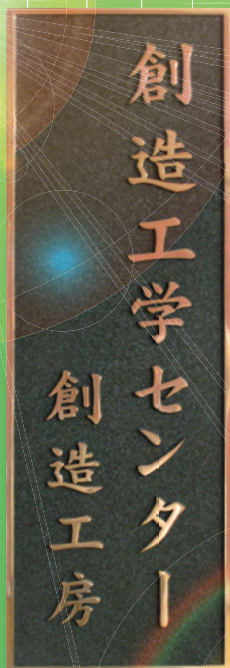


富山大学工学部附属 創造工学センター



富山大学工学部



センター長

川口 清司

「本物を作れる ものづくり力」の育成

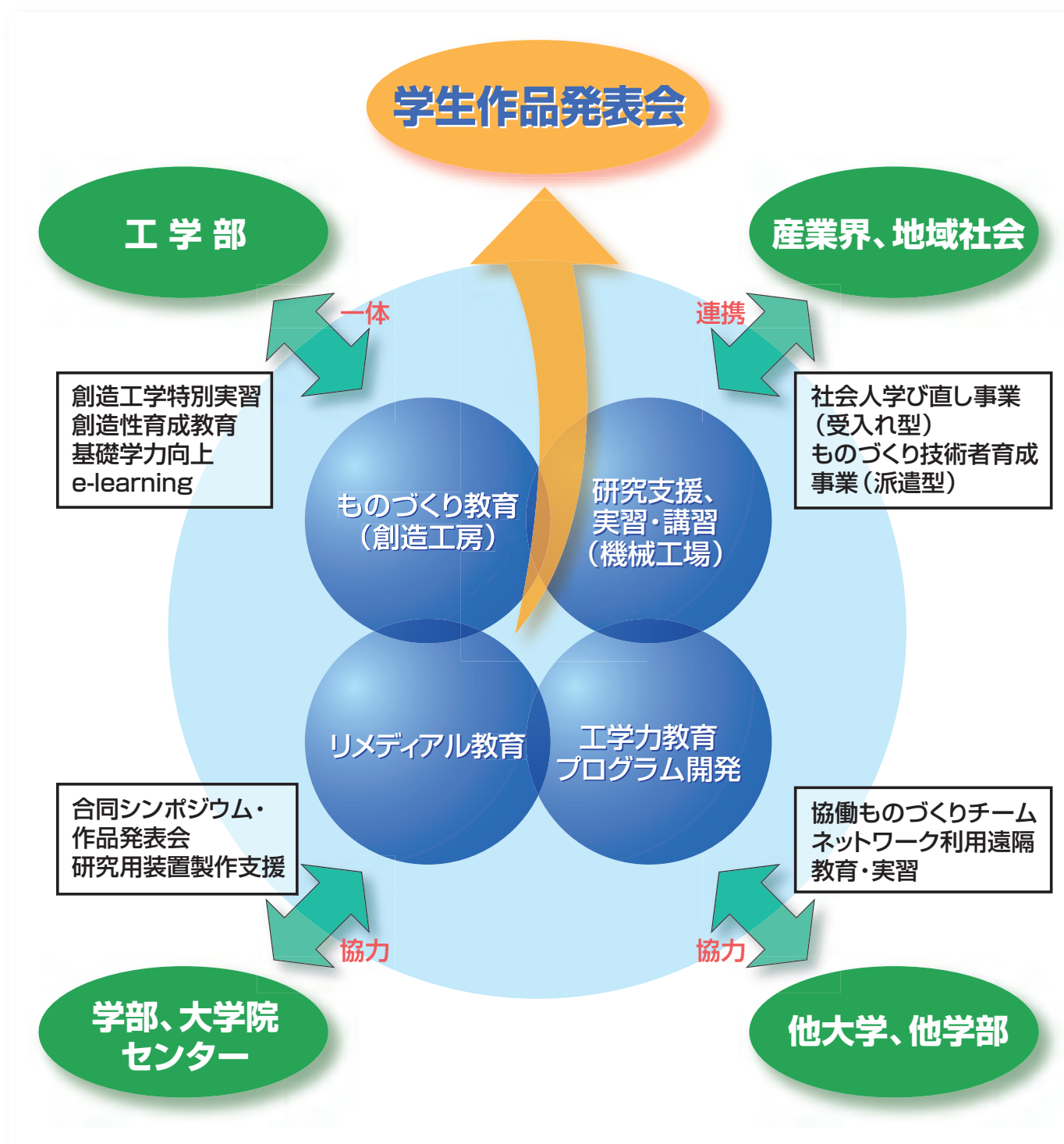
富山大学工学部附属創造工学センターは、工学部学生の創造性の育成、工学を学ぶことへの意欲の向上を目指した工学教育の改善を目的としており、平成15～18年度に採択された文部科学省の特色GP「ものづくりを支える工学力教育の拠点形成」事業の一環として、平成16年に設置されました。それ以来、「創造工学特別実習」や「企業技術者によるものづくり実践講義」など独自のものづくり教育プログラムを開発、およびそれらを工学部と協力して実施するとともに、学生によるものづくり作品の発表の場である「学生ものづくり・アイデア展」を開催するなど、学生の創造性の育成や学習意欲の向上に着実な成果を上げてきました。

しかしながら、近年の産業界においては製品開発のプロセスの理解や、コスト、信頼性など商品として通用する「本物を作れるものづくり力」が要望されており、工学部におけるものづくり教育にとって新たな取り組みが必要になってきました。そこで、創造工学センターでは平成19年度文部科学省事業「ものづくり技術者育成支援事業」に、「製品開発体験実習による実践的ものづくり技術者育成」プログラムを申請して採択されました。本事業は、産学連携型ものづくり教育科目「製品開発体験実習」を核とするものづくり教育プログラムにより、本物を作れるものづくり力を有する即戦力の技術者を育成することを目的とします。「製品開発体験実習」では、学生グループと教員が企業技術者とチームを組んで、製品の構造や開発プロセスの理解、設備の見学を実施するとともに、企業の実際の技術課題の解決に取り組みます。また、「製品開発セミナー」では、実際の製品開発に対する考え方を学びます。

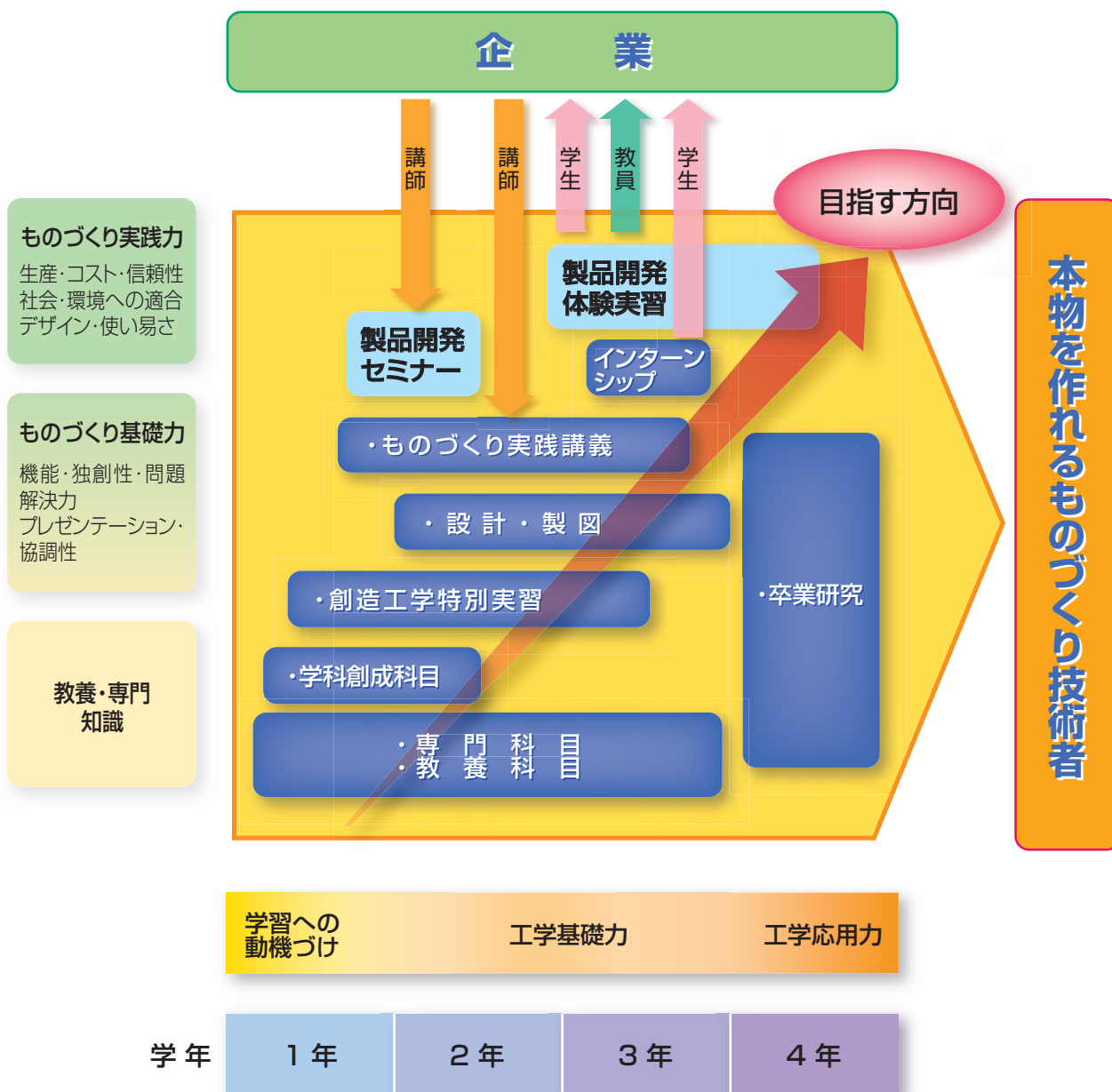
上記のものづくり科目を加えることによって、基礎学力から本物を作れるものづくり力までを網羅することができ、工学部における工学教育体系はさらに充実できたと考えています。今後はより高いレベルにおける学生の創造性の育成と学習意欲の向上を目指して、さらなる改善を図っていきます。関係各位には今まで以上のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

創造工学センターの目的と活動

創造工学センターは「企業連携教育部門」、「創造性育成教育部門」、「工学教育開発部門」、「研究支援及び実習部門（機械工場）」の4部門から構成されている。ものづくり教育を通して創造性豊かな学生を育成するために、自発的学習を促す工学力教育プログラムの開発、電子教材を利用するリメディアル教育の充実及び研究用実験装置の製作支援を行い、学生作品発表会を開催して得られた成果を発表する。このような取組を工学部とは一体化して行い、産業界・地域社会や学内外とは連携・協力しながら行う。

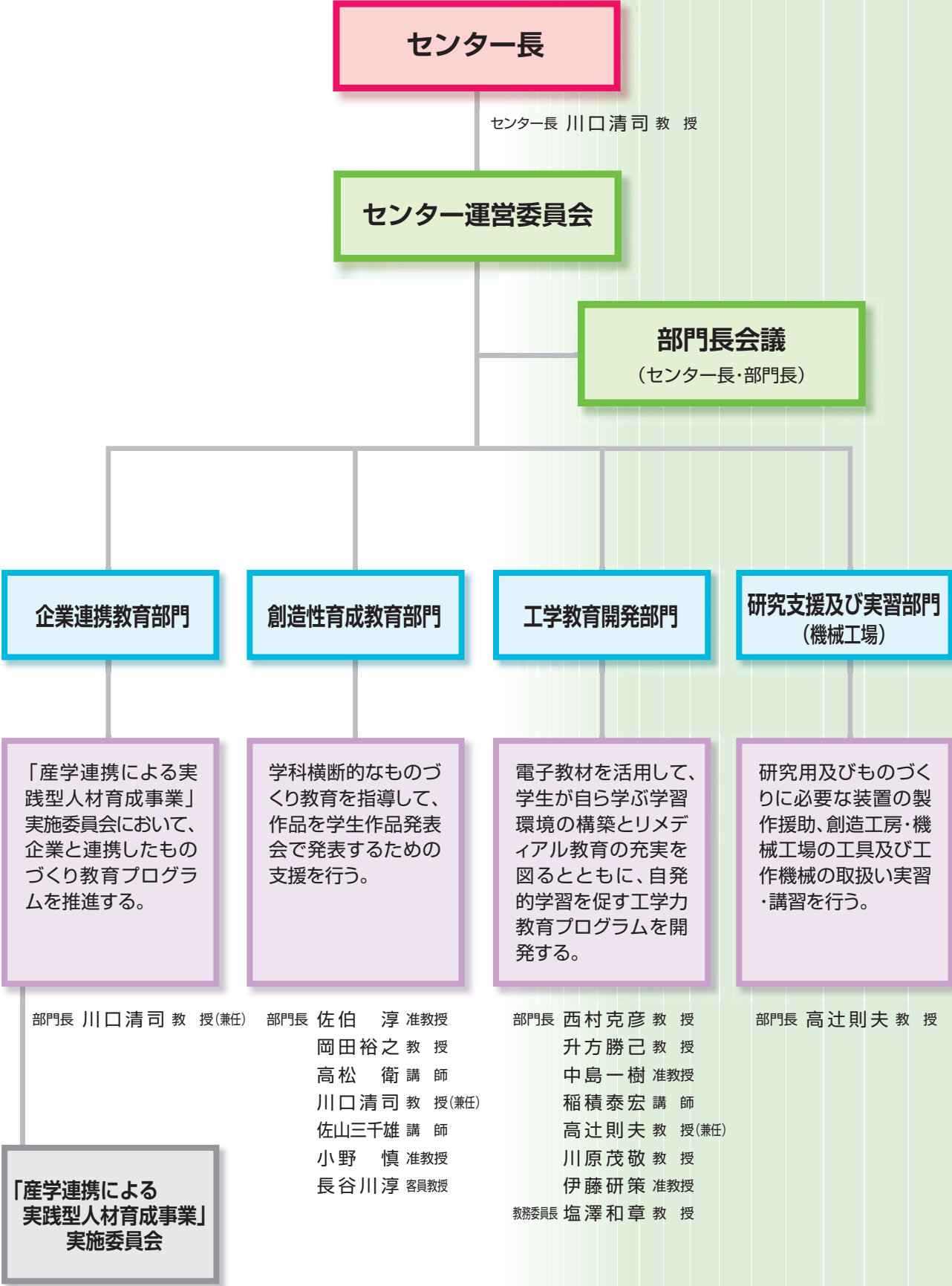


体系的なものづくり教育プログラム



本物を作るものづくり技術者を育成するためには、学部における教養科目や専門科目に加えて、ものづくり基礎力やものづくり実践力の習得が必要です。そこで創造工学センターでは、文部科学省の特色GP「ものづくりを支える工学力教育の拠点形成」事業において開発したものづくり教育プログラムである「創造工学特別実習」や「企業技術者によるものづくり実践講義」を工学部と協力しながら、継続して実施しています。さらに企業における製品開発プロセスを学ぶために、平成19年度文部科学省「ものづくり技術者育成支援事業」に採択された「製品開発体験実習による実践的ものづくり技術者育成」事業の一環として、産学連携型ものづくり教育科目である「製品開発セミナー」や「製品開発体験実習」を工学部と協力しながら実施することにより、本物を作るものづくり技術者の育成を目指します。

創造工学センターの部門と組織





● 交通案内

JR富山駅から：市内電車「大学前」行き
「大学前」下車 約15分
バス「高岡駅」行き
「富山大学前」下車 約20分
富山インターチェンジから：車で約20分
富山西インターチェンジから：車で約15分
富山空港から：車で約20分



● お問い合わせ先

富山大学工学部附属 創造工学センター

〒930-8555 富山県富山市五福3190 TEL&FAX 076-445-6689